

ひの 議会だより

No. 86

平成22年4月発行



楽しく放課後を過ごす子どもたち

— 主な内容 —

3月定例会	P 2~5
条例等	P 6
委員会視察研修報告	P 7
一般質問（6名）	P 8~13
意見書	P 14
組合議会の報告	P 15
町民の声	P 16

平成22年度 当初予算

3月定例会

一般会計

29億5,028万円



充実されたおひさまひろば

福祉・教育面で積極予算

三月十日から二十四日までの十五日間と会期を定め、平成二十二年度一般会計当初予算・特別会計当初予算（七件）、平成二十一年度一般会計補正予算及び条例の制定・一部改正・廃止など二十六議案はすべて原案通り可決。議員提案により意見書三件を提出しました。

予算総額を二十九億五千二百八十九万九千円とし、前年度に比べて一億二千七百九十七万九千円。率にして四・五三割増の予算となっています。財政健全化の方針に向かってはいるが引き続き「身の丈にあった」行財政運営を図り、安心して暮らせるまちづくりを目指します。

主な事業 （新） 新規

総務課

○防災一般管理（土砂ハザードマップの作成及び新型インフルエンザ感染防護用品の購

入） 〓 十二万六千円
○参議院議員選挙・農業委員会委員選挙費 〓 一千六十四万円

企画政策課

（新） 第五次総合計画の策定 〓 五十一万九千円

○地上デジタルテレビ移行推進（完全移行の前年であり、自主共聴施設の地上デジタルテレビ改修補助金を計上。役場庁舎のデジタル化改修の実施。その他、日野中継局整備支援、役場施設の地デジ化を行う。） 〓 一千九百六万円

（新） 日野町元気なまちづくり交付金事業（住民による元気な集落づくり、交流、地域資源を生かした地域活性化のための活動に交付、一件の上限は二十万円。） 〓 三百二十万円

（新） コミュニティ助成事業（自治総合センターの助成金を活用し、備品の整備 〓 真住公民館、黒坂三区自治会） 〓 三百六十万円

○若者定住支援事業（病院や福祉施設の若者向け職員住宅の整備を支援。また空き家を利用した移住定住を促進） 〓 予算はなし



日野病院

○過疎バス対策事業（公共交通を確保） 〓 一千九百三十五万三千元
 ○平成二十二年国勢調査等統計調査費（今年十月一日現在で、全世帯を調査する。） 〓 二百七十七万九千元
 ○まちづくり町民会議の開催 〓 十四万五千元
 ○新 町広報の発行（編集機器を更新し、より住民に親しまれる広報作成に当たる。） 〓 百四十七万九千元

健康福祉課

療費自己負担額の三分の二を助成する。） 〓 百二十万円
 ○新 子ども手当支給（中学校修了前の児童一人につき、一律月額一万三千元を支給する。） 〓 三千六百八十二万八千元
 ○新 子育て支援「おひさまひろば」（専任臨時職員を配置し、開催日を増やし運営） 〓 百九十万円
 ○日野病院組合負担金 〓 三億三千八百八十七万七千元
 ○ほかばか教室（各団体年間四〜六回実施） 〓 百八十九万四千元

産業振興課

○売れる米作り助成（県特別栽培米の出荷農家に対して、安心・安全な米、ブランド米振興に助成） 〓 三十三万六千元
 ○新 チャレンジプラン支援事業（農業の担い手を育成し、農業の活性化を推進。） 〓 四百五十万円
 ○新 緑の産業再生プロジェクト事業補助（間伐事業を新規に二〇鈴着手する補助。） 〓 五百万円
 ○橋梁修繕事業（八千代橋） 〓 七百二十四万五千元

○A・L・T配置（外国語指導助手、中学校を中心に小学校も） 〓 五百四十三万九千元
 ○新 町村派遣指導主事配置（教育の専門家を県から派遣してもらい学校教育への指導助言、小中一貫教育の推進、学校と家庭・地域連携による家庭教育推進に当たる。） 〓 九百二十八万三千元
 ○新 放課後子ども教室推進（放課後学校を活用し、地域の大人の協力を得て、子どもたちの安全で安心な居場所を整備し、子育て支援を行う。） 〓 七百六十三万六千元
 ○出前公民館活動 〓 百八十六万七千元
 ○新 文化センター開館十五周年記念事業（町出身者やゆかりの方々のコンサートを開催。） 〓 三十七万四千元



楽しく英語の授業

教育委員会

歳入予算

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	比較
町 税	379,249	372,162	7,087
地方譲与税	34,796	36,636	△1,840
利子割交付金	1,153	1,472	△319
配当割交付金	351	328	23
株式等譲渡所得割交付金	155	115	40
地方消費税交付金	36,414	39,860	△3,446
自動車取得税交付金	7,368	8,347	△979
地方特例交付金	1,728	3,120	△1,392
地方交付税	1,820,009	1,801,345	18,664
交通安全対策特別交付金	802	590	212
分担金及び負担金	14,880	19,570	△4,690
使用料及び手数料	33,098	32,826	272
国庫支出金	123,920	72,368	51,552
県支出金	243,705	186,575	57,130
財産収入	4,459	5,938	△1,479
寄附金	350	350	0
繰入金	9,926	9,359	567
諸収入	75,426	81,349	△5,923
町 債	162,500	150,000	12,500
歳入合計	2,950,289	2,822,310	127,979

審議の経過

議員 新しく創設された、まちづくり交付金（一団体二十万円の範囲内、総額三百六十万円）は、いつ頃までに申請を取りまとめられるか。
 また、申請額が予算額をオーバーした場合、交付金を増額（補正）される考えがあるか。
 執行部 まず、五月の自治会長会議で説明し、五月から取りまとめようと考えています。予算については、財政事情

もありますが、できるだけ元氣を出して頂くことが主旨であり、追加も考えています。交付金ありきでなく、自治会等で十分に話し合って頂き元氣がでる計画書を提出ください。楽しみにしています。
 議員 今までであった根雨まつりや黒坂納涼まつりに対する補助金も、今回創設されたまちづくり交付金を充てられるようですが。
 執行部 まつりの母体は、連合自治会等であり、元氣の出るまちづくりという意味合いで門戸を広げて補助金を交付

したいと考えます。

議員 町営バス運行経費は一千七百八十八万八千円で、その内県補助金が四百十九万六千円となっている。運賃収入は、

一方、バス利用者は年々減少しているように、その対策をどのように考えているか。

執行部 バス利用者は、二十一年度に比べて、二十一年度は六割乗車の方が減少しています。使用料（現金収入）は、

一割程度減る傾向にあります。いずれにしても、高齢化も進んでおり住民の足を守らねばなりません。広報等を通じて、利用促進に努めたいと思います。

議員 四月一日からパスポートの申請、交付事務が役場で行えるようになるようだが、どこの課で受付か。手数料の変更があるのか。

執行部 パスポートの事務は、住民課で行います。手数料は、県が行っていた料金と同じです。

議員 税金等の滞納について昨年、執行部より改善策の回答をいただきました。

税金の回収は、滞納金の一部でも回収するため、預貯金、有価証券等の差し押さえなど強制執行し、収納率の向上に努める。また、住宅新築資金につい

ては、今後も引き続き、戸別訪問、面接を重ね、返済意識の高揚を図り、回収に努めると言うことですが、予算書を見ると、昨年より回収率の高いものも見受けられるが、総じて昨年と同じような数字であり、もう少し努力があっても良いのではないか。

執行部 徴収に努力をしています。

予算に関しては、財源確保という部分が非常に重要。確実に徴収できるものを予算計上しています。実際には、予算計上している以上に回収できるものと推測しています。

一般会計 討論

反対 佐々木 求議員

隣保館の運営費一千四百四十万円、社会同和教育費関連で三百七十八万円など約一千八百万円が計上されており、これに一般財源が約六百万円投入。国・県の関連であると認識しているが、こうした支出が一日も早くなくなることを願う立場からも容認できない。

反対 竹永 明文議員

本町は、財政再建に取り組む最中でありながら、まだ事

業計画もはっきりしていない。沢蟹養殖は、四月から雇用対策も含めながら実施できないという予算の立て方は、認められない。

賛成 小谷 博徳議員

集落を元気にするまちづくり交付金や橋梁補修その他教育施設の耐震化、子育て支援、若者定住、そして農林業関係と、財政健全化の中で、広域的な分野にメリハリを入れて積極予算に取り組まれている。

採決の結果

賛成多数で可決されました。

特別会計

国民健康保険 予算大幅増

七特別会計の予算は、国民健康保険と介護保険で約八千六百万円が増額となっている。これは、高額医療費の増加が見込まれることや、介護の形態が在宅介護から施設介護への流れに対応したものである。

上・下水道は合わせて約千六百万円の減額が示されている。これは、起債償還額がピークを越えた事が主な要因。

平成22年度特別会計予算 単位：千円

会計名	22年度 当初予算	21年度 当初予算	比較増減
国民健康保険	494,317	428,496	65,821
老人保健	858	1,212	△354
介護保険	624,549	603,462	21,087
後期高齢者 医療保険	58,410	56,164	2,246
簡易水道	112,435	117,275	△4,840
公共下水道	135,227	143,849	△8,622
農業集落排水事業	71,394	74,367	△2,973

21年度 補正予算

一般会計（第七号）

4,332万2千円を追加し総額33億9,594万4千円とするもの。

主な内容

国の地域活性化・経済危機対策事業費の確定による減額。
地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業の追加によるもの。

一般会計（第八号）

8,458万2千円を追加し、総額34億8,052万6千円とするもの。

主な内容

特別交付税の額の確定によるもの。

基金積み立てに6,383万円

日野病院組合交付税追加分2,075万2千円

特別会計

国民健康保険

3,651万5千円を追加、総額4億6,276万1千円とするもの。

主な内容

高額医療費対象者の増加などを見込む。

簡易水道

165万円を減額し、総支給額1億4,485万5千円とした。

主な内容

入札減により減額するもの。

公共下水道事業

301万3千円を減額し、総額1億6,003万2千円とするもの。

介護保険

88万3千円を減額し、総額6億3,356万8千円とするもの。



老朽化が進んでいる上菅橋



日頃から健康管理を

審議の経過

国民健康保険特別会計

議員 国民健康保険税二百八十五万六千円減額の要因は。
執行部 被保険者数が約四十名減と所得の低迷が挙げられる。

議員 国保滞納金回収百八十万円拳っているが、回収が見込めるか。
執行部 百八十万円は確実に回収が見込めるということで

計上した。

議員 二十二年度医療費は増加する反面、健康づくり予算は減額だ。健康づくり関係の予算の増額はないのか。

執行部 啓発部分の減は、金を使わず医療費を下げ健康保持をする活動を予定している。

議員 医療諸費が六千二百五十六万二千円の増額となっている。基金の取り崩しで不足分を補っているが二年後には基金がゼロの状況となる。一

簡易水道特別会計

議員 水道料収入が百五十万円減の要因は。

執行部 人口減・大型店舗等の撤退・節水器具の普及などが要因と思われる。

二年の内に保険料の値上げの考えは。

町長 医療費を抑制する方法でジェネリック医薬品の利用・健康教室・早期発見。早期治療の啓発などに努めていきたい。

条例等



携帯電話中継局（三土・小原）

○日野町移動通信用鉄塔施設の設置及び管理に関する条例の制定

本町は、携帯電話の不感地区解消を進めており、電話会社が設置しない地区に町が携帯電話の通信施設を設置し、管理を行うための条例。

設置場所は、三土と小原地区です。これが完成すると一応町内どこでも携帯電話使用可能になります。

○日野町総合計画審議会設置条例の一部改正

町政に対して知識経験を有する者で委員数を二人増やして十五人とするもの。平成二十二年四月一日から施行。

○日野町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

農業委員会、教育委員会の委員等の報酬月額削減額、（率一〇割を五割に戻す）を改正し、平成二十二年四月一日から施行。

○日野町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正

町長、副町長等の給料月額削減額（率町長四〇割から二〇割に、副町長二〇割から一〇割に戻す）を改正し、平成二十二年四月一日から施行。町長月額額は六十三万二千元に改正。

○日野町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正

日野町教育委員会教育長の給料月額の削減額（率二〇割から一〇割に戻す）を改正し、平成二十二年四月一日から施行するもの。

○日野町職員の給与に関する条例の一部改正

日野町職員の給料月額の削減率を改正するもの。
（一、二級は四割から三割に、三〜六級は五割から三割にそ

れぞれ戻す）
また、職員の時間外手当を国に準じて改正。
平成二十二年四月一日から施行するもの。

討 論

反対討論 中原 明議員
単年度赤字になったとはいえ、実質公債費比率が三〇・二割と高い状況であり、数割でも元に戻すことは適当でない。

賛成討論 佐々木求議員
財政見通しの展望が開かれる中で、段階的な措置として、給料を元に戻していくのは、当たり前のこと。生活給である職員に負担を押し付けることは正しい方策ではない。

○日野町立社会体育館の設置及び管理に関する条例の一部改正

老朽化により黒坂社会体育館を廃止。平成二十二年四月一日施行する。

○日野町職員等の旅費に関する条例の一部改正

町職員等の内国旅行にかかるとる日当を支給しないようにす

るもので、期間を一年間延長するもの。平成二十二年四月一日施行。

○日野町標準小作料協議会設置条例の廃止

農地法改正に伴い条例を廃止するもの。平成二十二年四月一日施行。

○日野町農産物加工所の指定管理者の指定

鳥取西部農業協同組合を指定管理者とするもの。
期間は平成二十二年四月一日から平成二十五年三月三十一日まで。

○日野町宮土地改良事業の経費の賦課基準及びその徴収の時期方法

古川地区水路改修工事
事業費の二〇割相当額、経費を受益者に賦課、徴収の時期は平成二十三年三月三十一日限り。

○土地の無償貸付

町有地（根雨一四三番一）の一部（五三六平方メートル）を日野病院組合に、日野病院職員住宅用地として無償貸付するもの。
期間は、平成二十二年四月一日より職員住宅存続期間まで。

故宮田和也氏を悼んで



でありました。特に農業問題には見識が高く、本町の農業振興について真剣に取り組みられており、再三一般質問されていた勇姿は、私たちの臉に焼き付いています。

日野町議会議員宮田和也氏が、平成二十二年二月十日急逝されました。病氣療養中であり快癒されることをひたすら願っていた私たち議員は、大きな衝撃を受けました。平成十一年に初当選されて以来、連続三期十年間に亘り日野町議会議員として地方自治発展に尽力してこられました。

任期中途にして他界されたことは、本人はもとより町民、同僚議員も痛恨の極みであります。

この間、教育民生常任委員会委員長、総務経済常任委員会委員長、日野町監査委員(議選)又、日野病院組合議会の議員も歴任され、活躍中の矢先

私たちは、貴方の思いを受けとめ、及ばずながらキラリと光り先の見える日野町構築に努力していく所存です。心からご冥福をお祈りいたします。安らかに眠りください。

議会広報調査

特別委員会

委員長 佐々木周子



製品(合板)について説明を聞く

森林資源の活用で

地域振興を

総務経済常任委員会

行政視察研修

二月三日

日野川流域の九割は山林が占め、農業と並び林業はこの地域の基幹産業です。

地域の財産である森林を活かすことが求められています。国は、世界の環境問題に対応して、国内の森林、林業に対する施策の拡充を打ち出しています。

そうした状況の中で戦後に植栽された杉、松の人工林の間伐材の有効利用の取り組みを全国に向けて展開している地元の二社を視察しました。

協同組合 レングス(南部町)

平成九年九月に設立され、Jパネル(国産杉三層クロスパネル)を中心とした集成材の製造販売を事業内容としています。

年間二万四千五百mの原木を加工、十九人の雇用が確保されており、製品はグッドデザイン賞の受賞をはじめ、技術開発により商品価値を高め、受注に生産が間に合わない程の状況とのことでした。

株式会社 オロチ(日南町)

山を動かす地域も動くを会社の経営理念として、地域の活性化(雇用の創出)、森林資源の有効活用(LVL、単板積層材の製造と販売)、木質バイオマスの利活用技術の研究開発を目的として平成十八年に設立されました。

年間五万四千mの原木を加工、四十人の雇用の確保がされており、現在は二十四時間(三交代)操業、地域杉材から住宅などの柱や梁、下地材になるLVL製品を最新鋭の技術と設備で製造し、全国に向けて販売を行っています。

山間地で生きるとは、地域資源を活用することが、地域振興の要です。森を育てるための杉、松の間伐材を、高品質、高付加価値商品として需要の拡大に努めながら、森から木材が持続的に生産されることで、国土保全、水源涵養、CO₂削減による地球温暖化等に貢献でき、その結果、木材価格が上がることで収入が確保され、地球にやさしく、地域の活性化にも寄与されるものと考えたと話を聞きました。



研修を終えて

今回の視察研修を終えて両社には地元材の有効活用と雇用の創出で、地域の活性化に少しでも貢献したいという経営に対する強い信念と努力を感じました。両社の生産される商品が身近な所でも多く使用され益々発展されますようにご祈念申し上げます。

目標を持った まちづくりを



松本 利秋議員

計画作成の スケジュール

松本 総合計画及び過疎計画策定のスケジュールと計画の柱「まちづくりの夢」は、
町長 過疎法が六年間延長された。早々に策定委員会を設置し、作業にかかります。また、総合計画は、来年三月を想定しています。

本町の一番の課題は、財政の健全化であり、まずは平成二十八年度までの財政推計に掲げている事業計画を基本に考えます。

まちづくりの夢は、町民が安全で安心して暮らすことができ、幸せを感じ「きらり輝く」まちづくりが基本です。

松本 計画の策定で一番大切なことは、町民の声を聞くこと。全世帯を対象に住民意識調査を実施する考えは、
企画振興課長 おおせの通り実施し、計画に反映させます。

保・小・中一貫教育を

松本 本町の学校では昨年の四月から小・中一貫教育が進められています。これに保育所を加えた、特色のある幼少年期の一貫教育が必要であると思います。

町長 新年度から町派遣指導主事を配置すれば、保育所にも出向き、
幼児期から小・中学校まで見通した教育推進が図られるものと思います。

地域の特性、学校の特色を生かしながら、
保育所とも連携した、本町の一貫教育を推進したいと考えます。

松本 保・小・中の一貫教育を推進するには、担当部署は教育委員会が良いと考えますが、町長の機構改革構想は、
町長 私の頭の中にはありません。

まちづくり交付金

松本 自治会等を元気にするまちづくり交付金制度を創設されましたが、その内容は、
町長 町民が主役となって行う取り組みに幅広く支援を考えています。



まちづくり大会で研修

具体的には、地域の健康づくり、防災・防犯活動、お祭り、地域のコミュニケーション活動、
また特産振興など幅広くです。創意工夫し元気な地域づくりに、役立てていただければと期待しています。

松本 高齢化が進んだ自治会等にボランティアのまちづくり応援隊を組織したらどうか。
町長 出かける公民館活動が成果を上げていますし、ボランティア活動にも期待しています。まずは、地域の住民の方が話し合っていたことから始めてください。

議会のうごき

1月	22日	黒坂小学校給食試食会
	25日	根雨小学校餅つき大会
	26日	西部広域行政管理組合議会臨時会 根雨小学校給食試食会
	27日	日野中学校給食試食会
	29日	日野町江府町日南町衛生施設組合議会定例会
2月	31日	錬成会空手寒稽古
	3日	総務経済常任委員会
	10日	鳥取県町村議会議長会役員会 鳥取県後期高齢者医療広域連合議会定例会
	12日	例月出納検査
	22日	教育民生常任委員会 西部広域行政管理組合議会定例会
	23日	総務経済常任委員会及び他議員による視察調査



小谷 博徳議員

4年間の検証 答弁の進展度は

検診場所の増加要求

小谷 過去四年間の一般質問で、金のかからない施策で前向きな答弁を頂いた事項のその後をお答えいただきたい。町長が掲げた六項目の心配要素を満たした施設は検診場所に付け加えるのか。

町長 検診場所を増やすより高齢者の多くは病院にかかっておられるので、日野病院で検診を行うという二段構えの方向性で行っておる。

小谷 二十一年度受診率の減少が数値で表れている。町長のいう心配要素を満たした地区は、当然検診場所とするべきだ。

町長 「近くで検診を受けたい」その気持ちは分かるがいろいろな条件があつて難しい。一番大事なのは日野病院で検診項目すべて行つて頂けるようになっている。今は二カ所と日野病院と考えている。

小谷 町長はいつも安心・安全な町づくりと言っている。二十一年度の高額医療費の激増により基金も二年間でパンクの危機にある。本町モデルの作成が急務だ。

町長 早期発見・早期治療が一番経費も安く本人もらくで

すのでそういう観点からするとトーンが下がっているが、健康福祉センターを名実共に充実させ、日野病院のお医者様の協力を得て町民の健康管理体系をつくり、健康診断の問題を取り込んでいきたい。

町営バスを集落へ

小谷 「町営バスを集落へ」この住民要求は強い。町長も住民の声を聞き小原・三土と問題解決の姿勢は評価するが、その後の進展を聞きたい。

町長 どこかしことバスの乗り入れは出来な

い。通学など時間的制約が多い。

要望は聞くが利用がなければ空バスで走る

ことになりデマンド化をしている。タクシース会社との提携を模索している。

小谷 タク



集落の健康教室勉強会

シーの対応は大賛成だ。しかし厳しい財政事情を考えると町営バスを利用することがベストと考える。

中菅集落などは時間も経費も少なく実現の可能性が高い

町長 新過疎法の中で何か良い方法はないか模索している

中菅に運行するにしても滝山まで行かないと方向転換できない。結構な時間がかかる

熱が冷めると利用者も減少する。そして経費もかかる。それらを含めて今、考え中である。

26日	24日	23日	19日	18日	15日	12日	11日	10日	9日	3日	2日	1日	3月	26日	24日												
おしどり学園閉講式	第2回町議会定例会	全員協議会	黒坂・根雨小学校卒業式	議会広報調査特別委員会	第2回町議会定例会	総務経済常任委員会	教育民生常任委員会	第2回町議会定例会	議会運営委員会	総務経済常任委員会	教育民生常任委員会	第2回町議会定例会	全員協議会	「町村・企業トップ人権セミナー」	鳥取県町村議会議長会定期総会及び自治功労者表彰式	議会運営委員会	日野中学校卒業式	例月出納検査	第2回町議会定例会	全員協議会	総務経済常任委員会	教育民生常任委員会	第2回町議会定例会	全員協議会	日野病院組合議会定例会	町村議会議員年金受給者鳥取県協議会西部支部総会	町村議会議員年金受給者鳥取県協議会西部支部総会

発想と力量が試される地域主権



中原 明議員

地域主権の認識は

中原 単一主権国家を前提として、地方分権が唱えられた。地域主権とは地域のことは地域で決める。地域責任・新しい発想・価値観と力量が試される時代となるが、どう認識し再構築されるか。

町長 地方分権は、中央の権限を地方におろす。地域主権は地域の自治体が民意を反映させ、責任は地域全体で負わなければならない。

厳しい現状を踏まえ職員の見識向上を図り、財政面は常に危機感を持って業務に当る。中央集権で国が一本の方向に進んだ結果が今日の日本の姿、日野町の姿である。

地域主権、地域の時代、大賛成である。

選挙公約は示すべき

中原 無投票が予想され、町長の二期目の選挙公約が示されなかった。選挙後にマスコミにより初めて知った、町民を無視した選挙であった。

町長 一期目に掲げた財政再建・情報公開・人事の適材適所が道半ばです。二期目で公約実現が基本的な考えである。

マスコミは公表の最大の武器で意見を述べる事が大切だ。中原 当選後のマスコミ取材で、抱負を述べられたが、選挙前に町民に公約を公表するのが、候補者としての義務と役割ではないか。

町長 無投票で、告示から投票日まで述べる場所がない。

給与削減緩和は慎重に

中原 一律三割に改正すると年間いくら増額になるのか。ラスパイレズ指数はどうか。

総務課長 給与が四百三十一万円増、人事院勧告による期末手当四百六十九万円減額、総額で三十七万円の減額となる。ラスパイレズ指数は現在九〇・四割で

町長 財政悪化、給与削減等の風評が職員採用試験に影響を及ぼしている。職員が四年前には八十人で現在は六十人であり負担が大きい、県下でもラスパイレズ指数も最低、給与削減もやっている。それでも職員は頑張っている。これも親心であり、ご理解をいただきたい。

県下最低である。今年も現状であると思う。中原 伯耆町は実質公債費比率は二〇・一割、ラスパイレ



住民とふれあう窓口業務

30日 西部町村議会議長会連絡会
4月

3日 たたらの楽校開校式
4日 消防出初式
5日 議会広報調査特別委員会

8日 黒坂・根雨小学校入学式
9日 日野中学校入学式
13日 議会広報調査特別委員会

15日 郡正副議長打合せ
16日 おしどり学園開講式
19日 町同推協役員会
20日 議会広報調査特別委員会

日野病院組合議会

議員を選出

宮田和也議員の死去に伴い平成二十二年三月十五日選挙により指名推選で松本利秋議員を選出しました。任期は平成二十三年五月十九日までです。



松原 直人議員

土砂災害避難は

集中豪雨対策

松原 土砂災害警戒情報について、急傾斜地の多い本町として、豪雨時の水害・土砂・流木（間伐材の放置）災害等が予想されます。

今は豪雨に対して予測が可能な時代となり、早めの対応も可能となっている。鳥取県の情報はありますが、町自身の対応策を考え適切な避難活動に繋げるべきではないか。

町長 土砂災害警戒情報は、土砂災害の発生及び危険度が高まった時に、県と気象庁が共同で発表する防災情報であり、町では土砂災害危険度情報や町内の災害発生状況等により避難勧告、避難指示などを発令する判断基準としていて、適切な避難活動につながつている。

本町の集落はいずれも急峻な地形の低地に集落があり、危険と感じられたら自主的に避難していただきたい。

松原 防災無線も時間四〇分の大雨では聞こえない人もいる、地域住民に情報の提供・伝達を考えないといけない。

町長 鳥取県西部地震以来、毎年全町民が参加の下に震災を想定した避難訓練を実施し

ている。

自治会や地域で要望があれば、防災マニュアルの作成や豪雨に備えての避難訓練などお手伝いできる。活用していただきたい。

健康福祉センターの職員体制は

松原 体制を充実されたが、現状と今後

町長 保健師四名と新たに管理栄養士が加わり、町民の皆様の健康指導や育児相談など体制は一応図られたものと思つています。

日野病院との連携により医師の派遣をいただきながら、山村開発センターで健康づくり講演会や、健康相談の日を開設し地域ぐるみで健康づくりする。

松原 医療費の増大、健康づくりに関して、もっと積極的な対応が必要ではないか。



消防庁から無償で借り受けした工作車

町長 住民の健康を願うなら健康福祉センターの機能を十分に発揮しなければならぬ。

一応、職員体制は確保できましたが、この組織に魂を入れなくては住民の負託にこたえることは、できないと思ひ、着々と取り組んでおるところです。

そこで日野病院の先生方から知恵をかりて、保健師・管理栄養士が一体となって町民の健康づくりに取り組みたいと思ひます。

総務経済常任委員会 事務調査

平成二十二年四月二十一日、本町の情報政策の現状と今後について、日野町企画政策課妹尾秀博課長から話を聞いた。

一、平成二十一年五月十一日、総務省担当者より国の補助金と経済対策交付金によるインターネットのブロードバンド整備について説明を受ける。

一、六月、中海テレビ・N T T・中電工の三社から協力を得て事業費、維持管理費等の積算。

課題

- ①年間の維持管理にかかる経費が多額である。
- ②将来の機器更新時にも多額の費用がかかる
- ③アンケイトで、ケーブルテレビは、加入を希望される世帯が二六割であった。
- ④ケーブルテレビは、加入工事金や月々の利用料が発生し、住民負担の増額。
- ⑤携帯電話の不感地区の解消により、町内どこでも携帯電話によるインターネットが可能になる。

早期発見・治療へ 住民と一体の取り組みに



佐々木 求議員

「計画」を持って

佐々木 医療費の一件当りの金額が伸びている。これは患者の重症化をしめしている。国保会計が大変なのは、国の負担を五割から二五割に半減させてきた上、医療費が伸びたため地方自治体と住民負担が大きく増えたためです。医療の格差、負担の格差が進んでいる。一方で、介護に頼る生活者は、保険料と一割負担が大きい。地域で健全に健康的に過ごすためには早期発見、早期治療につながる行政と住民も一緒になった体制づくりが必要だ。介護施設が満床になれば、病院のベッドも埋まることになる。

地域で健康に過ごしていただく方策がよく見えない。数年かけた頑張りが必要になるが、具体的に保険計画などに位置づけるなど、町民に知らされるのが大事だと考えるがどうか。

町長 介護保険料滞納は二月末で三名四十五万円現年度分未納十五名二十七万七千円で特別徴収チームで意見を伺いながら徴収に努めたい。運用については、全国的に見れば介護施設の受入れ体制は十分

とは言えないが、本町は町内や江府町内の施設利用が七十九人米子周辺十七人の利用。待機者はないが、そうした状況が生じれば入院して施設の空きを待っていたり、他の施設を含め新たに入所の手続きをしていたり、医療費急騰は、心臓疾患や脳梗塞等の疾病治療が一時的に重なったもの。入院患者数増加は慢性的なものではないと思う。

健康福祉センターは行政の範囲の中でやっていて、医療が入らないと疾病の状況等詳しく解らない。慢性的疾病を少なくする、そこが一番の弱点であった。

複数の執行体制を

佐々木 町長一人の執行体制の問題は、以前基本的な理念



住民と一体となって健康教室

検証

沢ガニ養殖事業

一町民が沢ガニの養殖に取り組んでいるものを、さらに研究量産化し、町の特産品につなげて行こうとするプロジェクト（平成二十一年度から三年間、約二十万円）事業。

これを国のふるさと雇用再生特別基金事業を取り入れて始められた。

議員 この事業は、雇用対策で始められたものだ、昨年に比較して人数が三人から二人に減少した理由は。執行部 昨年度に調査研究を行ったが沢ガニの養殖増産が思うように出来なかつたので、商品化に向けてシフトし、一人減とした。

議員 二十一年度の検証結果がまだ出ていない中で、四月以降計画をどのように立て、予算執行しようとしているか。

執行部 雇用対策事業を使いながら、本町の沢ガニの特産化を目指していきたい。本町にこれが将来的にどうなるかという報告書を基にして十分に検証し、実施していきたいと考えます。



竹永 明文議員

若者が定住できる環境づくりを

竹永 今日の町本町の財政状況をどのように思っておられるのか聞きたい。

町長 昨年来、財政状況も相当改善され、平成二十二年度予算単年度収支の合った予算編成がなされており、当面新たな投資は最小限にとどめ、この状況を続けることにより、財政は健全化すると思っております。

竹永 大きな要因は、自然災害、平成十二年に起きた鳥取県西部地震で、急激な財政難になったと私は認識していません。

町長 先のことを考えずにお金を費やした結果であると、私は思っております。あの地震の時に無制限みたいにお金を投げ込んだから、こういう結果になったと思います。

竹永 その時は本町の存続をかけていろいろ協議した結果です。

明るい展望を持つためには、町民の皆さんに再度認識していただいて、これから一緒に頑張つて「こういう町」をつくりたいという思いがあつて、お聞きします。まちづくりの目標の中で本町の将来の子どもに対してこういうふうにしりたいという「夢」を持つべきだと思つてお聞きします。

町長 そういう気持ちがあり、二十二年度の当初予算は先の見える予算編成をしたところですが、

竹永 若者が定住できる環境づくりとは、具体的にどういうことなのか聞きたい。

町長 やはり働く場所と住む所があり、また生活の便利さや町の魅力が必要と思つていきます。

病院や福祉施設には、町外から多くの若者が通勤されていると伺つております。まずは、町内に住んでいただくための住宅環境を整えたいと考えているところです。

竹永 若者定住のためのワンルーム住宅の必要性を議会で再三質問して来ましたが、財政再建のため、



若者定住に住宅建設が必要

当分やらないという方針を変えた理由について聞きたい。

町長 住宅は大切であり、反面お金のかかることで、町営住宅を建てれば建てるほど、町の持ち出しは増えます。そこで、町は直接投資しなくても住んでいただける住宅を今、求めておりまして、町営住宅はその後の補完住宅として考えています。

議員 昨年度は、事業内容等をご細かく説明があり、議会は良からうと言うことで議決をしたが、今回は詳しい説明がない、早急に具体的な説明をいただきたい。

執行部 四月中には議会に報告したい。

次回の定例会は 6 月です。

傍聴にお出かけください。

議会事務局 72-0335

意見書

提出

要旨

脳卒中対策基本法の早期制定を求める意見書

高齢社会を迎え、脳卒中は大きな社会的課題となつてきている。

脳卒中の中でも、これまで根本的な治療がないとされてきた脳梗塞の発症が最も多い。脳梗塞に対する効果的な治療薬である血栓溶解液が開発されたがわずか二割しかこの治療を受けていない。

その理由は、
①発症三時間以内に治療の開始
②救急搬送体制の不適

③啓発活動が不十分等がある。これらの課題を解決するには、救急搬送体制と医療体制の整備・連携、そして、教育の場等を活用した啓発が必要となつてくる。そのためには、一貫した理念と方針の下で、



検診で健康管理を

国を挙げて各種対策に取り組むことが不可欠であると言えらる。よつて、以下のとおり脳卒中対策基本法を早期制定されるよう、強く要望する。

社団法人日本脳卒中協会が制定されている「脳卒中対策基本法要綱(案)」の趣旨に沿つた、脳卒中対策基本法を早期に制定すること。

提出先

内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書

本年四月のオバマ米国大統領

領の「核兵器のない世界」に向けた演説以降、米国とロシアとの第一次戦略兵器削減条約(START I)の後継条約の交渉開始、核不拡散・核軍縮に関する国連安全保障理事会首脳級会合における全会一致での決議での採択、同会合での鳩山総理の核兵器廃絶の先頭に立つとの決意表明、我が国が米国などと共同提案した核軍縮決議案の国連総会での圧倒的多数の賛成を得ての採択など、核兵器廃絶に向けた世界的な流れは加速しています。

こうした流れを更に確実なものとし、核兵器廃絶を早期に実現するためには、明確な期限を定めて核保有国を始め各国政府が核兵器廃絶に取り組む必要があります。

このため広島・長崎両市と世界の三、三九六都市が加盟する平和市長会議では、二〇二〇年までに核兵器を廃絶するための具体的な道筋を示した「ヒロシマ・ナガサキ議定書」の趣旨に賛同し、二〇一〇年のNPT再検討会議において同議定書を議題として提案していただくとともに、その採択に向け、核保有国を始めとする各国政府に働きかけていただくよう強く要請します。

提出先

内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣、衆議院議長、参議院議長

安全・安心な公共事業を推進するため、国土交通省の事務所・出張所の存続を求める意見書

1. 国民の生命と財産を守るため中国地方整備局及び事務所・出張所の廃止を行わない。

2. 公共事業の予算配分を水害・土砂災害・雪害等の防災及び生活関連に伴う河川・道路等の整備、維持管理に重点配分するとともに、中国地方整備局及び事務所・出張所の組織を災害時でも敏速に対応できる体制にすること。

3. 国民の安全・安心につながる社会資本整備は、国の基本的責務であり、地方に移譲することなく国の責任において行うこと。

提出先

内閣総理大臣、総務大臣、国土交通大臣

日野病院 組合議会

平成二十二年第一回定例会が二月二十六日開かれまし
た。

条例の一部改正一件、病院
事業・在宅介護支援事業・診
療所事業・介護老人保健施設
事業、四会計の平成二十一年
補正予算と、同じく平成二十
二年度当初予算が提案され、
審議の結果、原案通り可決さ
れました。

平成22年度 日野病院組合予算

病院 事業	収益的 収支	収益	14億5,238万円	年間入院患者数25,285人 年間外来患者数45,285人
		費用	14億5,005万円	
病院 事業	資本的 収支	収入	1億4,106万円	資本的支出 エックス線CT装置、単身 者向け職員住宅建設費など
		支出	2億5,388万円	
在宅介護 支援事業	収益	5,888万円	年間利用者数 訪問看護2,064人 訪問リハビリ1,944人	
	費用	5,121万円		
診療所事業	収益	2,651万円	年間外来患者数 黒坂診療所1,641人 二部診療所170人	
	費用	1,063万円		
介護老人 保健施設 (あやめ) 事業	収益	3億9,383万円	入所者 年間23,600人 短期入所者年間1,950人 通所リハビリ年間7,200人	
	費用	3億8,176万円		

日野町 江府町 日南町 衛生施設 組合議会



汚泥処理場（清化園）

平成二十二年第一回定例会
が、一月二十九日開かれまし
た。
平成二十二年当初予算が
提案され原案通り可決されま
した。

平成二十二年当初予算は、
歳入・歳出それぞれ二億二千
九百六十八万八千円で本町の負
担金は八千八百二十七万一千
円（前年比九十五万七千円の
増額）。
老朽化している施設の延命

化を図るため、修繕に重点を
置いた予算。
歳出の主なもの、両施設
の修繕、維持管理費等清掃費
に一億六千四百三十一万円。

鳥取県西部広域 行政管理組合議会

○平成二十二年第一回臨時会
が、一月二十五日開かれまし
た。

専決処分一件、平成二十一
年度一般会計補正予算一件が
提案され、原案通り可決され
ました。

専決処分は、一般職の給与
の特例に関する条例の一部改
正。行政職給料表の平均で
○・二割減額、自宅にかかる
住居手当の廃止、期末勤勉手
当を○・三五割引き下げるも
の。平成二十二年一月一日か
ら施行。

○平成二十二年第二回定例会
が、二月二十二日開かれまし
た。

条例の一部改正二件、平成
二十二年第一一般会計当初予算
二件、監査委員の選任及び教
育委員の任命など六議案が提
案され、原案通り可決又は承
認されました。

条例の一部改正は、火災予
防条例の一部を改正し、カラ
オケボックスなど個室型店舗
にかかる避難通路の避難障害
を防止するため所要の改正を
するもの。

平成二十二年第一一般会計当
初予算は、前年度対比で三・
四割の減額の五十七億二千八
百七十九万五千円。

本町の負担金は、一億三千
八百七十三万三千円（前年比
三十三万四千円減額）。

平成二十二年特別会計当
初予算は、歳入・歳出それぞれ
七百七十九万九千円（前年比五
百九十六万九千円減額）。

声

(3)

84号より町民の皆さんの「一言」を掲載しています。ご意見をお寄せください。

議員も地域活性化に

汗を流していただきたい

尾平 石根(福長)

世界恐慌と言われている様に、国内外の経済は不況脱出に出口が見つかからない状況が続いています。一方、山間地は主要産業の農業が、自立はおろか所得を上げるという最

低限の目標達成すら至難の業で苦しんでいます。以前、農業委員をしていた頃から、山村の高齢化を心配していましたが、歳を重ねる度にその心配が現実となり、今や七十歳前後が集落を守っている現状は、まさに周りは全て限界集落の状況をつくり出しています。



これは、農村を無力化する事であり、事実、中山間地直接支払制度や農地水環境など山間地農業を支援する国の制度を利用する気力も失う現象が起きています。この原因は集落に地域のリーダーがない事であり、リー

自治功労者表彰

平成二十二年三月二日、県町村議会議長会総会が開催され、その席上、自治功労者表彰が行われ、本町から二名の議員が表彰されました。

・全国町村議長会会長表彰

議長として、通算七年以上在職し功労のあつた者として

佐々木秀明議長

・県議長会会長表彰

議員として通算十一年以上在職し功労のあつた者として

佐々木 求議員



ひの議会だより「努力賞」

県町村議会広報コンクールで、議会だより八十二号が「努力賞」を受賞しました。

誠に喜ばしいことであり、議会広報調査特別委員会の委員が一丸となって編集に取り組んだことや、関係各位のご協力の賜物と感謝しています。

それから、役場職員にも頑張つて貰う。これだけでも町内多集落が救えると思います。

高齢化が進むにつれ「町の為に頑張ります」「地域の為に仕事をさせてください」という声に、今すぐりたい程集落は疲弊しています。

超高齢化に対応したまちづくりが早急な課題であり、課題の解決策には、一刻も早い取り組みが必要と考えます。

あとがき

桜が満開の好日に、小中学校の入学式が行われた。黒坂小学校十一名、根雨小学校十三名、日野中学校四十名、希望に満ちた新入生。景山町長も二期目の出発。議員も、町民の負託に応えて夢と希望に輝く町に、是々非々の立場で共に歩みたい。新年度予算に元気なまちづくり交付金が創設され、集落や地域に活力が生まれれば幸いです。

▼社会は大きく変わろうとしている。地域のことは地域で、主体性と責任がともなう地域主権が実現する。行政、議会の新しい感覚での対応が問われます。

委員 中原 明

議会広報調査特別委員会

- 委員長 佐々木周子
- 副委員長 松本 利秋
- 委員 中原 明
- 小谷 博徳
- 松原 直人